様式第２号の３【⑶厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本ヒューマンセレモニー専門学校
設置者名	学校法人　鶴嶺学園

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

１．授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。
（授業計画書の作成・公表に係る取組の概要） ・教育課程編成委員会の意見等も考慮し、授業計画の修正等が必要な場合には、原則的に授業開始の３カ月前までに授業計画を完成させる。 ・授業計画に関しては、教員室前及び学校受付窓口にてファイル保管し、だれでも閲覧可能な状態としている。

授業計画書の公表方法	教員室前及び学校受付窓口にてファイル保管、 だれでも閲覧可能。

２．学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。
（授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要） ・各科目ごとにシラバスによって定められた方法によって評価する。 ・総合点を 100 点満点とし、A:100～80 点、B:79～70 点、C:69～60 点、D:59 点以下で評価する。D 評価に関しては、不合格とし履修を認定しない。（再試験対象） ・各科目の総授業時間に対して、30%以上欠席した者の履修認定はしない。（補講の対象）

３．成績評価において、ＧＰＡ等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。	
（客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要） ・GPA を採用。 ・GPA 値の算出方法：Ａ評価：３、Ｂ評価：２、Ｃ評価：１、Ｄ評価：０として、各教科の評価点の合計を科目数で除して算出する。 ・GPA 値を成績表に記載するとともに、GPA 値の分布票を掲示する。	
客観的な指標の 算出方法の公表方法	教員室前及び学校受付窓口にてファイル保管、 だれでも閲覧可能。
４．卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。	
（卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要） ・卒業認定に関しては、教育課程における全科目の修了をもって認定する。 ・資格取得ポイント 20 ポイント以上の取得。 ・教職員による卒業認定会議において認定する。	
卒業の認定に関する 方針の公表方法	・インターネット（学則に記載） https://humanceremony.ac.jp/information-disclosure/ ・学生生活ガイドは、学生配布及び受付窓口にて だれでも閲覧可能。